

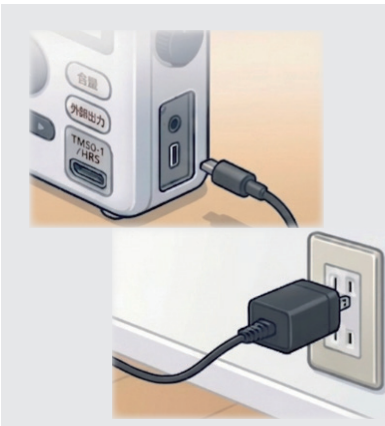
No.13

あなたの “命の受信機” 準備は万全ですか？

～「聞こえない」を防ぐために～



災害時の情報収集は、命を守る第一歩。白糠町が発信する緊急情報を受け取る要となるのが「戸別受信機」です。いざという時に正しく作動するよう、今すぐご自宅の機器をチェックしてみましょう！



戸別受信機の「健康診断」

- ✓ 電源の確認
コンセントに刺さっていますか？
「いつの間にかコードが抜けていた」
「掃除の時に外してそのままだった」というケースが少なくありません。
- ✓ ACアダプターが確実に差し込まれていますか？
- ✓ 目で見て触って確認してください。

地域防災支援員の

＼ 今日からやろう！

防災力UP



むらやま りゅういち
村山 隆一

1964年3月生まれ、白糠町出身。1982年5月、釧路西部消防組合消防署に消防士として奉職。2022年4月、釧路市西消防署白糠支署長に就任。心理相談員や産業カウンセラーなどの資格を所有。好きな食べ物はカレーライス。

◇アンテナの調整
最後まで伸びていますか？
ロッドアンテナ（伸縮式の金属製の棒）は、根元から先端までしっかりと引き伸ばしてください。

【感度アップのコツ！】
「雑音が入る」「音声が届き取りにくい」という場合は、戸別受信機を窓際へ移動し、アンテナの向きや角度を調整しながら受信状況をご確認ください。



電池は必ずアルカリ電池を使用してください。マンガン電池を使用すると、液漏れしやすくなります。



◇電池のチェック
「液漏れ」していませんか？
災害による停電時、戸別受信機を動かすのは内蔵されている乾電池です。電池を入れたまま長期間放置すると「液漏れ」を起こし、故障の原因になります。半年に一度は電池を取り出し、端子が汚れていないか確認しましょう。

●防災ニュース

キッチンカーで避難生活を支援

大規模災害時における避難者支援の強化を目的として、北海道キッチンカー協会（蛭名弘幸代表理事）と災害協定を締結しました。

被災地や避難所へ迅速に駆け付け、温かい食事の提供を通じて避難生活を支援します。



▼協定書を手にする蛭名代表理事（右）と森谷危機対策部長

防災マップWeb版
<https://www.town.shiranuoka.lg.jp/kurashi/bousai>

津波避難アンケート
<https://logoform.jp/form/imyj/1541490>



◇設置場所について
戸別受信機は、夜間の災害発生時でも確実に音が聞こえる「寝室」や、日中に家族が集まる「居間」など、生活の中心となる場所に設置することを推奨します。

◇問合先
戸別受信機について、気になることがありましたら、危機対策課までお気軽にご連絡ください。
・危機対策課地域防災係（222）